

## 豊田一空園の取組 ～ くもん学習療法 ～

くもん学習療法は、脳科学者である東北大学の川島隆太教授と、福岡にある老人福祉施設の園長、教育のくもんの3者の出会いがあって実現できた、認知症予防のプロジェクトです。

豊田一空園では平成19年4月より「くもん学習療法プロジェクト」を立ち上げ9月より開始しております。

学習者にとっての効果は

- ①学習を通して脳が活性化する
- ②笑顔、表情、意欲、コミュニケーションの向上
- ③QOL（生活の質）の向上
- ④その人らしさを取り戻すこと



支援者にとっての効果は

- ①個別に関わり、観察、気付きをケアに活かす
- ②個別のコミュニケーションから信頼関係が生まれる
- ③介護への視点の変化で支援者の可能性を見出し、引き出す効果があります。

学習内容は学習者のレベルにより変更して週4回～5回の学習機会を設けており、育成士の研修修了者4名から新任スタッフ研修を受けた介護職員、介護支援専門員、管理栄養士、作業療法士、看護師、相談員、事務員、施設長と、多職種が支援者として連携し進めています。

学習目標を定めた目標シートを作成し、全支援者が目標達成に向けた支援を行い、その取り組みをケアプラン化することで、日常生活の可能性に反映しています。

学習支援者として学んだ『ほめる』を、日常生活においても取り入れ、ご利用者様一人一人の個別ケアの1つとして多くの笑顔が見られるよう、多職種で連携をはかり、職員一同取り組んでいます。

